



今年の夏は、久しぶりに夏らしい夏になりましたね。みなさん、夏バテしていませんか？
そんな夏も、もうそろそろ終りなのではないでしょうか。
立秋も過ぎて、夜には虫の音が聞こえ始めてきましたね。もうすぐ学問の秋ですよ～
今年の5月に播磨病院内でも4名の方が日本糖尿病療養指導士に合格されました。
その中で今回は、第5病棟の岡本和美看護師にお話を伺いました。

特集！有資格者に聞く！

第5病棟 岡本和美 看護師 日本糖尿病療養指導士に合格！！

岡本さん、合格おめでとうございます。

A：ありがとうございます（笑）

岡本さんは、私が5病棟に配属された頃からすでに、糖尿病の指導に関して積極的に取り組まれていたのを覚えています。

Q：今回、どうしてこの糖尿病療養指導士という資格を取ろうと思われたのですか？

A：播磨病院内の生活習慣病グループに任務するようになり、
正しい知識を患者様に提供するには資格を持っているほうがいいと思ったからです。

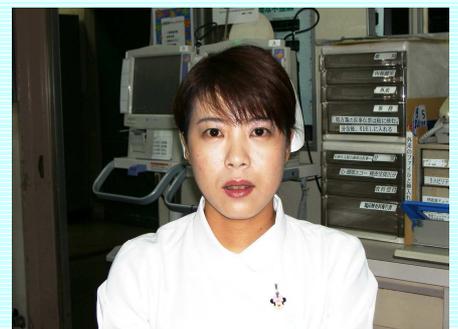
そうですね。人を指導するときには自分自身がちゃんとした知識を持っていないと、
指導する側もされる側も不安がありますものね。

Q：では、この資格について少しお聞きします。
この資格はどのような内容の資格でしょうか？

A：日本糖尿病療養指導士とは、日本糖尿病療養指導士認定機構の
定める水準に達していることを
認定するもので、糖尿病とその療養指導全般に関する
正しい知識を有し医師の指示の下で患者様に熟練した
療養指導を行うことのできる医療従事者に対して
与えられる資格です。

現在11929名が合格しており、
播磨病院では看護師4名・管理栄養士2名・薬剤師1名
臨床検査技師3名の方がこの資格を持っています。

年々、この資格を持った人が増えていますね。播磨病院でも今回、4名の方が合格されていますね。



Q：では、受験に際してどのような準備をされましたか？

また、勉強に当てた期間はどのくらいでしたか？

A：糖尿病療養指導士受験ガイドブックというものを購入して2日間の講習を受講し、1次試験で10例の症例を提出しなければなりません。それに合格すれば、2次試験に進み筆記試験を受けます。勉強に当てた時間は約1ヶ月です。

すごいですね。かなり集中して勉強されたんでしょうね。

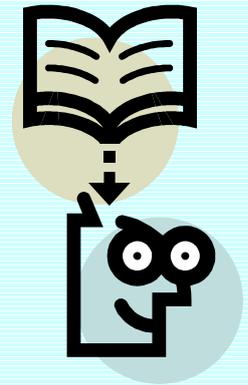
Q：受験勉強する上で苦労したこととかはありますか？

A：10例の症例をパソコンで打って提出しなければならなかったことです。

パソコンをそれほど触ったことがなかったので少し困りました（汗）

それと、勉強する時間が仕事を終えてからだったので、睡魔との闘いでした。

仕事をしながらの勉強は大変だと思います。本当に感心します。



Q：では、資格取得にかかった費用はいくらくらいでしたか？

A：講習を受講するのに3万円、試験を受けるのに2万円で、計5万円＋交通費でした。受験場所が近畿地方は京都。中国地方で岡山になるので少し遠いなあ～とは思いました。

Q：この資格は、更新に必要な手続きはありますか？

A：認定期間5年目に認定更新申請が必要となります。

5年間に学会・研修に参加して40単位を取得すること、糖尿病療養指導業務に従事した証明書、10例の症例を出す必要があります。

…また、パソコンでの打ち込みが必要となってくるんでしょうか…？

資格を取得して継続していくためには、当然のことながら絶え間ない学習と努力が必要なんですね。

Q：最後に、今後の抱負を教えてください。

A：糖尿病学とその臨床応用は常に進歩するので、自己の糖尿病の知識や療養指導技能の向上に常に努め患者様に、よりよい看護が提供できれば…と思います。

生活習慣病の患者さんがどんどん増えている現状です。

医療従事者として予防的な関わりがとて大切になってきていますので、

播磨病院としても糖尿病学習入院の充実や糖尿病教室などの開催をどんどん活発にして、地域の方のお役に立てればと思いますね。

岡本さんの今後のご活躍を期待しています！

ありがとうございました。

A：ありがとうございました。

さて、来月のTTAK新聞は・・・
特集！この人に聞く！として

総務の平形 哲男 さんにお話をお聞きしました。

平形さんには播磨病院のホームページの更新作業や、NSTのデータ共有システム、院内LANの整備などで、たいへんお世話になっています。

とっても頼もしい平形さん、どんなお話が聞けるでしょうか・・・

お・た・の・し・み・に！！

TTAK新聞のバックナンバーは

播磨病院ホームページ <http://www.harima-hp.jp/main.htm> からご覧になれます。

BY: Y. Y.